

第八次香川県保健医療計画作成等協議会（第1回）議事録

1 日時

令和5年4月12日（水）15:00～15:40

2 場所

香川県庁本館12階 大会議室

3 出席者

(1) 委員

安藤委員、井手口委員、大石委員、久間委員、久米川委員、豊嶋委員、野田委員、藤澤委員、藤田委員、榎野委員、松浦委員、松本委員、三野委員、若林委員

(2) 事務局

木村健康福祉部長、吉川健康福祉部次長、星川医療調整監、高橋医務国保課長、福家国民健康保険室長、森医務国保課副課長、大橋健康福祉総務課主幹、遠山健康福祉総務課課長補佐、高橋健康福祉総務課課長補佐、吉峰長寿社会対策課課長補佐、佐藤長寿社会対策課課長補佐、宮本長寿社会対策課課長補佐、岡野障害福祉課課長補佐、和田障害福祉課課長補佐、鴨居医務国保課課長補佐、福家医務国保課課長補佐、加古医務国保課課長補佐、山内薬務課課長補佐、和田感染症対策課課長補佐、山下長寿社会対策課主任、松井医務国保課主任、鈴木医務国保課主任、石田感染症対策課主任主事

4 開会

(1) 会長の互選について

第八次香川県保健医療計画作成等協議会設置要綱（以下「要綱」という。）第5条第2項の規定により会長を互選し、久米川委員が会長となった。

要綱第5条第3項の規定により、久米川会長が、豊嶋委員、門脇委員を副会長に指名した。

(2) 会議の公開・非公開について

本検討会を今後も公開とし、傍聴を希望する者の傍聴を認めるとともに、会議資料及び議事録を、県ホームページにおいて公表することとなった。

5 議題

(1) 議題1「第8次医療計画の概要」、議題2「作成スケジュール」について

(会長)

ただいま、事務局から、第8次医療計画の概要とその作成スケジュールについての説明がございましたが、今の説明につきまして、委員の方から何か御意見・御質問ございましたら、よろしく願いいたします。

(各委員)

意見なし。

(会長)

よろしいでしょうか。新興感染症が一つ加わるというところでございます。

(2) 議題3「二次医療圏の設定」について

(会長)

二次医療圏の設定について、事務局から説明をいただきました。

問題になるのは、人口が少ない小豆医療圏を、一つの医療圏として置いておくかどうかということだと思います。

これにつきましては、お話がありましたように、以前、地域医療構想の構想区域を考えると、当時5つの医療圏があったけれども、香川県は小さいので、そんなに必要だろうかということ、合併させようということになりました。

ただし、小豆医療圏というのは、夜間救急に非常に問題が残ってしまっていて、小豆医療圏を高松の医療圏に含めてしまうと、医師の数とか、夜間救急についての問題点が完全にマスクされて、充足されているというようなことになってしまうので、小豆医療圏については、一つの医療圏として残して、問題点をきちんと明らかにしようという目的で、三つの医療圏を置いたという経緯がございます。

この第8次医療計画においても、地域医療構想の3医療圏でやろうというお話でございますけど、これにつきましては、委員の方から御意見、御質問ございましたら、よろしくお願いいたします。

(委員)

先ほど、会長がお話しになりましたとおり、小豆医療圏は、病床数や医療者の数とか、今後の人口の変動の具合とか、東部とは全く違う動きがあるので、これを東部に合併させると、へき地性という言葉が適切かどうかは分かりませんが、小豆独特の問題が隠されてしまうという可能性が大きいので、やはり別々に扱うのが適切かと思っております。

質問ですけれども、医療圏を別にすることによる、若しくは、合併することによる、住民への直接的なメリット・デメリットというのは、特に説明はなかったのですが、どうなのでしょう。

(事務局)

事務局といたしましても、例えば、小豆保健医療圏が東部と統合した場合、東部への医療資源の集中が一層進む可能性がある、また、一般的な入院医療につきましても、地域偏在がさらに進む可能性があり、そのような中で、小豆島が東部医療圏へのアクセスに制約を受ける離島であるということ踏まえ、住民サービスの低下が懸念されると考えております。

また、医師の話もございましたが、医師確保の観点でも、東部保健医療圏は医師多数区域というふうになっており、小豆医療圏は医師少数区域ですので、統合した場合、まとめて医師多数区域になるということで、会長、委員が仰られたとおり、小豆医療圏の検討課題が、埋没してしまう恐れがあるのかなと考えてございます。

(会長)

他に委員の方から御質問・御意見ございますか。

よろしいでしょうか。特に質問がないようですので、この3医療圏で進めていくということにいたしましょうか。

(3) その他

(会長)

折角の機会ですので、委員の方から、何か現在の医療についての問題点や疑問点がございましたらお願いします。

(委員)

第七次香川県保健医療計画の概要を見せていただくと、数値目標が掲載されていて、本年度が数値目標の最終年度ということですが、コロナもあつたりして、数値目標に色々な影響が出ていると思いますが、数値目標は達成できそうなのでしょうか。

今年度が、最終的な評価を行う年度ということになってくると思います。

(事務局)

仰るとおり、今年度が現行計画の最終年度になっておりますが、指標の結果につきましては、まだとりまとめ中でございます。次回の第2回の協議会の際に、改めて委員の皆様にお示しさせていただく予定ですので、しばらくお待ちいただければと思います。

(会長)

特に、禁煙に関してはかなり厳しく率を上げるように設定していますので、厳しいんじゃないかと思っていますけれども、コロナの問題があつたものですから、かなり目標に達していないものもあるかと思っています。

また、まとめていただくようにお願いします。

(委員)

資料の8ページですが、その他の圏域ということで、例えば、がんや脳卒中については5圏域とありますが、この5圏域というのは旧医療圏の5圏域を指すのでしょうか。

(事務局)

そのとおりです。

6 閉会

(会長)

それでは、本日の会議はこれで終わらせていただきます。長時間に渡り、御議論、どうもありがとうございました。お疲れ様でございます。